

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2011～2012年度 国際ロータリー Kalyan Banerjee (カルヤン・バナネルジー) 会長テーマ

Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立 1954年3月8日

承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 杉浦世志朗
幹事 市川裕大
会報委員長 吉岡秀記

第2740回例会プログラム

[当年度=16回目; 当月=4週目]

2011年(平成23年)11月28日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(12/5) ……
卓話「again であいふたび」
講師 西居院住職 広中 邦光 様
(紹介者 横山 宜幸 会員)
(12/12) ……クラブ総会
次年度理事役員選出

2. クラブフォーラム……………〈ロータリー財団委員会〉

- 13:00 卓話「未来の夢計画について」
(財団資金の活用について)
講師 地区ロータリー財団委員会
委員長 深谷 友尋 様
(名古屋みなと RC)
(紹介者 水越 彌生 会員)

13. 謝辞
14. 点鐘……〈会長〉
15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

出席

会員総数 91名 出席免除 28名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 12名 出席率 86.21%
前々回(11/7)の修正出席率 100%

会長報告

- 11月23日西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会が開催され多くのメンバーにご参加頂きました。刈谷 RC は団体で3位でした。尚、同時に開催されました刈谷 RC ゴルフ例会は、アウト50、イン50、グロス100、ネット75で池田憲司会員が優勝されました。
- 米山記念奨学会より、伊藤節夫会員に、米山功労者感謝状が参っています。
- 11月18日、石巻4RC 合同例会に出席し、支援用自転車を贈呈してまいりました。
- 11月24日 RC 学校訪問コンサートで、亀城小学校へ行ってまいりました。
- 11月15日西尾 RC へ刈谷 RC バンドとともに、例会へ行ってまいりました。熱烈な歓迎を受けました。



米山功労者 伊藤 節夫 会員

幹事報告

- 1) 会長報告にございました石巻4RCのバナーを、お返し致します。ご覧下さい。
- 2) ロータリー財団東日本震災復興基金寄付と言う事で健康食品等を売る業者がアプローチしているようですが、RCとは関係ありませんのでお間違いなく。
- 3) 本日例会後、理事会を開催致します。関係の皆様は、よろしくお願い致します。

地区大会



11月20日(日) ウェスティンナゴヤキャッスル

会長あいさつ

杉浦世志朗



東日本大震災の被災地、石巻に市川幹事と行ってまいりました。

石巻市の4ロータリークラブ合同例会と石巻市長表敬訪問、被災地の悲惨な姿を見てまいりました。心が痛むばかりです。

仙台から石巻に向かうJR仙石線はまだ全線復旧されておらず、大津波によってひん曲がったレールは放置されたままで、その間はバスで代行と云う状況です。

ロータリークラブの例会では暖かい出迎えをうけ、壇上での挨拶の後、自転車贈呈の目録をお渡しして、4クラブとバナー交換をまいりました。

いろいろお話をする中で、多くのロータリアンが会社・工場や自宅を失い、特に、東ロータリーの会長ご夫婦のみならず、十数名のロータリアンが亡くなられたとお聞きしご冥福を祈るばかりです。

その後、河北支所で自転車の贈呈式を終え、被災地を訪れました。

8ヶ月が経った今では、震災直後にテレビの映像などで見た、ビルの上に船が乗っていたり、瓦礫や家や車が街中に無残に放置されていることはないのですが津波の爪あとはいたる所で見受けられます。

死者・行方不明者、合わせて約2万人の内、4500人の犠牲者をだした石巻市、現在は7000戸の仮設住宅が建てられているとはいえ、今から迎える厳しい東北の冬!!「がんばろう日本」と言っているだけでは済まない現実を感じました。

クラブフォーラム

「未来の夢計画報告」

地区R財団委員会

委員長 深谷 友尋 様



今月11月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団は1917年アーチC・クラフ会長が全世界的な規模で慈善・教育・その他社会貢献の分野で良いことをする為に基金をつくらうと呼びかけたことが始まりです。

間もなくロータリー財団も100年を迎えます。

世界のニーズに応え、プログラムを変更しました。「未来の夢計画」です。計画の大きな特徴は持続可能な成果をもたらすことです。プログラムと運営を簡素化し、申請、承認がITによって行われるようになり、世界のニーズに応える最大の奉仕活動へと進化しました。

ロータリー財団は自分たちのものであるという認識を高め、より身近なものとして確立されました。ロータリー財団は寄付するだけだというご発言を多く聞きますが、「未来の夢計画」は、その疑問を解消しました。ロータリアンが自ら寄付された浄財を、自らの手で奉仕活動に役立つプログラムに変わりました。大きな特徴は、前年度に事業の計画を立てることです。また財団活動の資金は世界の主要なニーズに応え、人道的プログラムが多くなってきたことも特徴の1つです。寄付金をどのように活用するかを決定する自由を寄付者に与えている事も特徴の1つでしょう。

「未来の夢計画」は、地区内の全ロータリークラブから寄せられた年次寄付と恒久基金の運用益が3年シェアシステムにより、地区活動資金をグローバル補助金と新地区補助金に分けられ、地区活動資金からポリオプラス、平和フェロシップへの寄贈もおこなっています。

東日本大震災の復興支援活動は、陸前高田病院へ医療器具購入に10万ドルの支援を行いました。このように地区の裁量で活動資金を活用出来るプログラムは大きな進化だと思えます。

未来の夢計画活動の基盤は、年次寄付、恒久基金、ポリオプラス、大口寄付、使途指定寄付に委ねられています。当地区の寄付額は、毎年順調に推移し、ロータリー活動が活発であることを実証しております。

この度、東日本大震災復興支援プロジェクトチームを発足致しました。

被災地の情報を各クラブに公開することによって、クラブの活性化と同時に支援活動の円滑化を図ることを目的に準備を進めております。

よくお尋ねになられる質問に、「地区は東日本大震災への復興支援を行う」とされているが我がクラブは地域の奉仕活動を計画しているが行えないのか? の質問が有ります、答えは「出来ます」基本的にはロータリー財団は東日本大震災復興支援活動を支援しますが、クラブ

の計画は尊重しなければなりません。財団が強制するものではありません。

「未来の夢計画」はロータリークラブが自らプログラムを計画し申請をすることにより大きな成果をもたらすように変わりました。

ポリオ・プラス委員会は来年2月下旬インドにおいて、ポリオの恐怖から多くの子どもたちを守る為ポリオワクチン投与活動を計画し、ロータリアンの参加を募集中です。

奨学委員会は本年度2～3名の大学院生の奨学生を募集し、応募資格は重点6分野の研究を目指し、大学院の合格を受けた人が対象です。奨学金は単年度・2年度共に3万米ドルを支援します。

更なるロータリー財団活動にご理解ご協力をお願い致します。



第6回理事会

I 会長挨拶 〈会長〉

II 議題

1. 12・1月のプログラム（案）について
〈クラブ奉仕委員長〉
〈プログラム委員長〉
2. 新年例会並びに合同懇親会について
〈親睦活動委員長〉
〈幹事〉
3. 第12回そろばんフェスティバル後援について
〈職業奉仕委員長〉
4. 交通死亡事故防止のためのDVD購入について
〈社会奉仕委員長〉
5. ライラセミナー参加について
〈新世代奉仕委員長〉
6. インターシティー・ミーティング（IM）の登録
およびクラブ発表者と報告者について
〈幹事〉
7. 中部経済新聞社年賀広告について
〈幹事〉
8. 複合機およびパソコンの購入について
〈幹事〉
9. その他

11月度刈谷RCゴルフ例会

平成23年11月23日(木)

於：葵カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	池田 憲司	100	25	75
2位	盛田 豊一	80	5	75
3位	大竹 憲治	90	14	76
B B	關 淳之	113	18	95